

# 橋が織りなす 出会いと居場所



## 情緒ある町並み

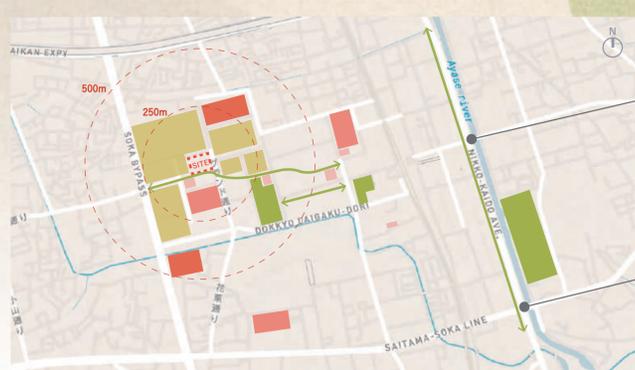
草加は日光街道第2宿として江戸時代に成立した。綾瀬川に沿う「草加松原」は「おくのほそ道の風景地」として国の名勝に指定されている。



## SITE

### 多方向なアクセス

敷地は住宅地に位置し、北側には栄中学校、南側には藤幼稚園と松原小学校がある。



百代橋  
長さ 約 83.5m  
幅 約 3.5m  
高さ 約 7m



永代橋  
長さ 約 96.3m  
幅 約 4.1m  
高さ 約 9m

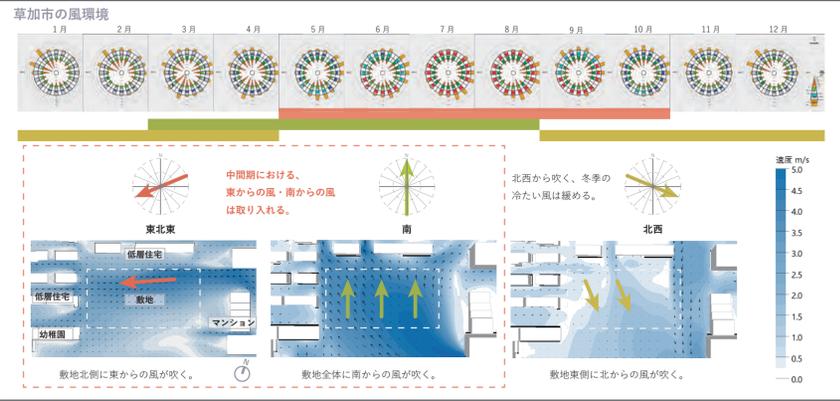
## CONCEPT

目指す建築			
草加のシンボル	草加のシンボルである百代橋、矢立橋の太鼓橋をデザインコードとする。 		
橋で展開される場			
	橋の上、下でひとりの居場所、友だちとの居場所をわける。	橋の上で出会う 橋の下で出会う	橋の上がステージ、観客席になる 橋の下がステージになる

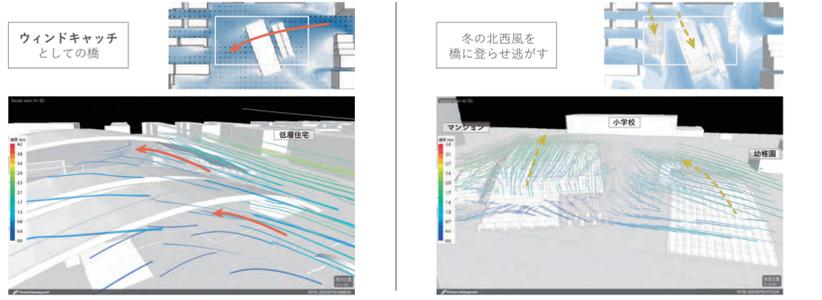
中間期の風をうまく敷地に誘いこめるような、橋の配置の仕方を模索した。



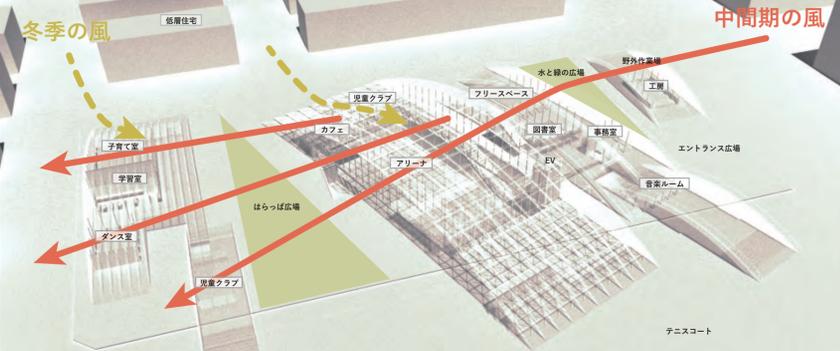
### 01. 敷地に吹く風



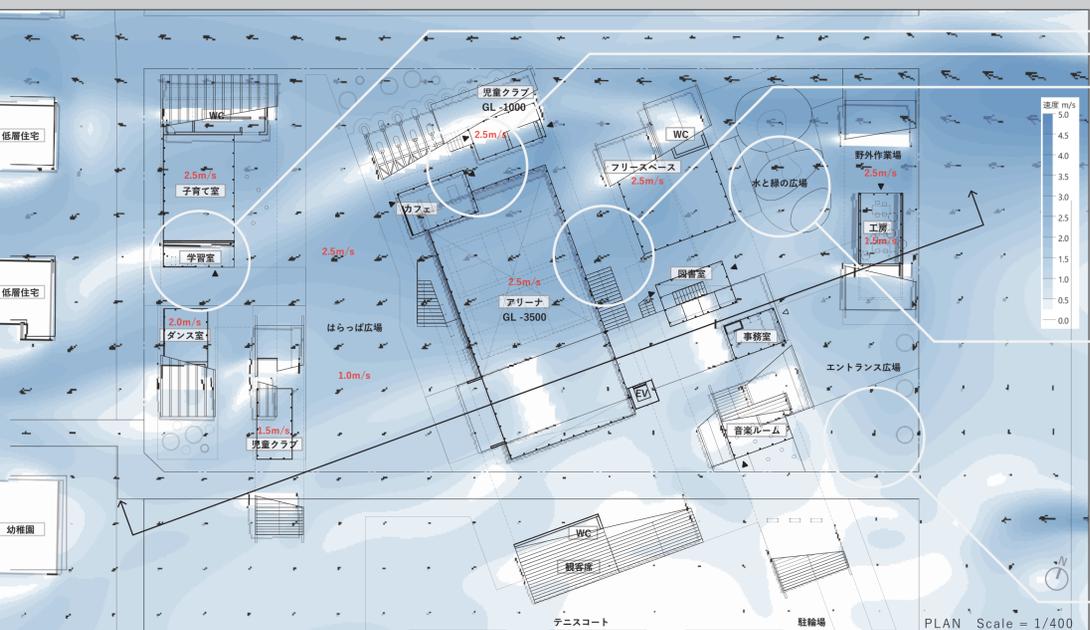
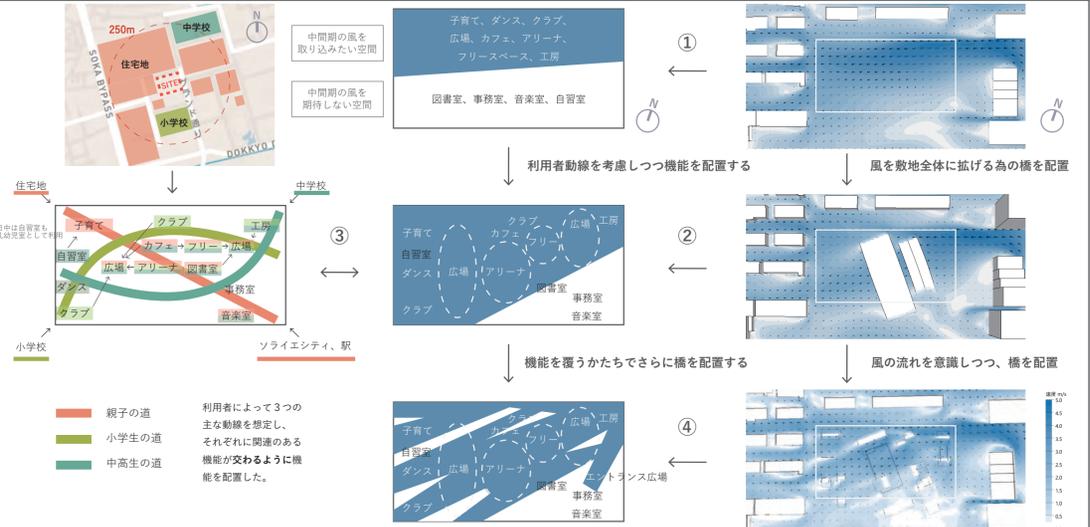
### 03. 橋のアーチ形状による風の動き



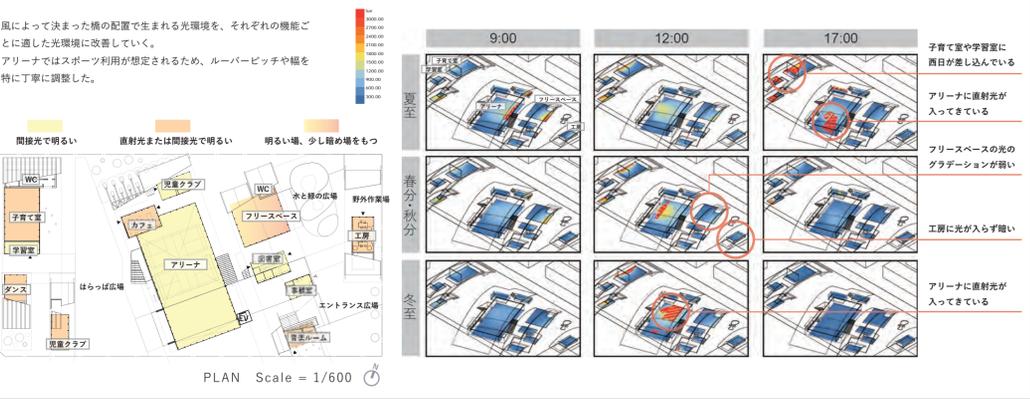
### 04. 橋の全体構成



### 02. 中間期の風を取り込むための橋の配置プロセス



### 01. 目指す光環境と現状



### 02. 改善策



### 03. 改善後

